



宮崎地本だより
Provincial Cooperation Office
Miyazaki

令和



発刊元：自衛隊宮崎地方協力本部
編集：募集課広報班
お問い合わせ
宮崎県宮崎市東大淀2丁目1-39
検索

平成31(令和元)年新隊員入隊



宣誓を誓う新隊員



同期とともに



全員で連隊歌を合唱



新制服姿で堂々たる入場

今年度本県出身者の若者259名が全国の各教育隊及び防衛大学校等へ入隊、入校しました。平成31年4月8日(月)には都城駐屯地及びえびの駐屯地において自衛官候補生の入隊式が行われ、入隊者は新制服に身を包んで式に臨み、堂々たる入場から始まりサービスの宣誓を元気に読み上げ、これからの国防を担う自衛官の一員として希望に満ち溢れた表情で自衛官としての第一歩を踏み出しました。

平成31(令和元)年 出陣式



祈願だるまに目入れをする本部長



部員全員一致団結

平成31年4月5日(金)宮崎地本本部において平成31年度出陣式を行いました。式では本部長以下、各出張所長等が祈願だるまへの目入れ、各所長からの決意表明、本部長訓示があり、宮崎地域事務所長のかけ声により勝どきをあげるとともに本年度の募集目標達成を誓いました。本年度も宮崎地方協力本部は一丸となり募集目標達成に向け募集広報に力を入れ頑張っていきます。

たまゆら

「平成」最後の年、宮崎県から自衛隊に入隊・入校した若者は二百五十九名となりました。国内の好景気が続く一方、自衛官の募集は大変厳しい状況の中、募集相談委員会をはじめとする防衛協力団体や部隊の皆様のご支援ご協力と、ご家族のご理解や先生方のご指導、更に広報官の奮励努力により、平成三十年度の目標には僅かに及ばなかったものの、一定の成果を出すことが出来ました。

まずは、お礼と感謝を申し上げたいと思います。今後、彼らが、それぞれの教育課程で約三ヶ月間におたり、自衛隊の規律の中での勉学や厳しい訓練を無事に乗り越え、新元号「令和」での卒業を迎えることを祈念し、職員一同応援していきたいと思えます。昨年度の募集活動において、改めて感じたのは、自衛隊に対する信頼は得られていても、自衛隊の認知度の低さや自衛官という職業の魅力が、若い人達にまだまだ伝えきれていない現状であり、それが自衛官募集の難しさであるということでした。

新元号「令和」となり、日本中が新たな時代への希望と大きな成果を願うという始まりの年を迎えましたが、新たな時代においても不足の事態や大規模な災害に対する備えは必要となります。

自衛隊という存在が日本を支える基盤となるべく、また、志高く優秀な人材に対して自衛官の誇りとやりがいのある職をアピールしていく熱い募集広報活動を実施していきたいと思えます。

本部長 一等空佐 荒井 将人

平成30年度着隊(校)業務

旅立ち

before embarking on a journey

PHOTO Gallery



激励の言葉を送る本部長



南宮崎駅での見送り



航空要員(第1教育群)



家族から見送られる入隊予定者



空港での見送り



海上要員(横須賀教育隊)



航空要員(第1教育群)



航空要員(第1教育群)



陸上要員(第43普通科連隊教育隊)



防衛大学校・高等工科大学校



海上要員(佐世保教育隊)



陸上要員(第113教育大隊)



航空要員(第1教育群)



防衛大学校着校



防衛医科大学校へ着校



高等工科大学校着校



海上要員(横須賀教育隊)

まつりイベント



京町二日市



平成三十一年二月二日、えびの市で開催された京町二日市に第二十四普通科連隊とともに参加しました。毎年約十万人の人出で賑わう南九州最大の買い物物市に宮崎県内外から約四百店舗が出店、小林地域事務所も、募集ブースを開設して募集広報活動を行った。

来場者の中には、ブース前で足を止められ興味を示し、「看護師になりたいです」「将来、陸上自衛官になって自衛隊車両の整備がしたいです。」等の質問があり、広報員は親身に説明を実施した。

みやざき産業まつり

宮崎



平成三十一年三月九日、宮崎県総合運動公園で行われたみやざき産業祭りに一般広報として参加しました。

会場には自衛隊広報ブースの他に宮崎県警及び宮崎市消防局も参加しており各広報ブースはお年寄りから子供まで、たくさんの方が興味を示して頂きました。特にミニ制服コーナーでは子供連れの方に人気があり、試着及び記念撮影で盛り上がりました。第四十三普通科連隊の協力により軽装甲機動車を展示し自衛隊への興味を深めて頂きました。



延岡大師祭

延岡



平成三十一年四月十四日、延岡市において延岡大師祭が開催されました。宮崎地本は市中パレード支援として車両二両と宮崎地本キャラクタの隼人（はやと）君・渚（なぎさ）ちゃんを参加させ祭りを盛り上げました。約二万三千人の来場者の中、先頭車両に河野宮崎県知事二両目に旭化成キャンペーンモデルが乗車し約二キロの道のりをパレードしました。

部外講話



平成三十一年一月十六日、宮崎県立都農高等学校において、第四十三普通科連隊（都城）の隊員が災害派遣の経験談を折り交ぜながら防災講話を行いました。特に、災害の備えで大事な「自助」「共助」「公助」などの説明を行いました。参加した約三百名の生徒及び職員方は、この講話を受け「防災意識が高まった、南海トラフ地震の備えに役に立ちました」と述べていました。



艦艇広報



護衛艦じんつう（宮崎港）

宮崎



平成三十一年二月十五日、宮崎港に海上自衛隊護衛艦「じんつう」が入港しました。募集対象者を主体とする艦艇の特別公開では県内の高校生九十名が見学しました。艦内では装備品等の説明、カレーの体験喫食があり海上自衛隊に対する関心を高めてもらいました。

輸送艦しもきた（細島港）

日向

平成三十一年三月五日、細島港に海上自衛隊輸送艦「しもきた」が入港しました。来場者は体験喫食において海上自衛隊オリジナルカレーライスを喫食し、「大変美味しい」と絶賛されておりました。ミニ制服の試着コーナーでは子供に人気であり記念撮影で盛り上がりを見せました。またLCA Cの体験搭乗も企画されており初の体験搭乗に緊張と喜びを体感されておりました。



コンサート



市民と自衛隊とのふれあいコンサート

延岡



平成三十一年一月十九日、陸上自衛隊第八音楽隊の「市民と自衛隊とのふれあいコンサート」が延岡市野口記念館で行われました。

本コンサートは、延岡市自衛隊協力団体の主催で毎年開催されており、この日を楽しみにしていた市民で会場は立ち見が出るほどの盛り上がりでした。第一部は「陸・海・空行進曲メドレー」で幕を開け、行進曲「大空」「軍艦」「空の精鋭」を披露し自衛隊の威風を示すとともに、クラシック演奏では美しい音色で会場を魅了しました。

第二部では「8音ツリスト特別企画！」と音楽で綴る夢の旅へご招待と題して、ジャズや映画音楽を披露し壮大な演奏に観客を魅了しました。特に「Y・M・C・A」の曲を陸上自衛隊バークソン「G・S・D・F」に編曲し、会場は笑いとダンスで一体となりました。

来場者は多彩なステージに大きな拍手を送り「来年も是非延岡に来てください。」と隊員に声をかけながら大満足で会場を後にしていました。

コンサート終了後も隊員との記念撮影や、演奏のアドバイスを受ける吹奏楽部の学生も見られました。



人事往来

【転出者】

熊本地方協力本部へ

三等陸佐

福元 昭広

都城駐屯地業務隊へ

一等陸尉

吉原 整

第九施設群(都城)

陸曹長

稲田 俊行

九州補給処へ

防衛事務官

笠原 健生

長崎地方協力本部へ

防衛事務官

野口 和剛

鹿児島地方協力本部へ

防衛事務官

谷山 昌弘

えびの駐屯地業務隊へ

防衛事務官

相原 麻衣子

対馬警備隊へ

防衛事務官

高妻 台樹

長野地方協力本部へ

防衛事務官

石崎 雄大

【転入者】

募集課 広報班長
三等陸佐 西 秀弘
(中部方面特科隊)



募集課 募集班長
一等陸尉 黒木 和彦
(第二十四普通科連隊)



宮崎募集案内所長
三等陸尉 西田 茂
(第四十二即応機動連隊)



総務課 人事係
陸曹長 大谷 浩美
(西部方面衛生隊)



総務課 補給係
陸曹長 菊池 栄治郎
(第十五後方支援隊)



都城地域事務所
陸曹長 河野 輝彦
(第二十四普通科連隊)



援護課 予備自訓係
一等陸曹 下地 國智
(第二十四普通科連隊)



延岡出張所 広報官
一等陸曹 今村 哲也
(第五地对艦ミサイル連隊)



延岡出張所 広報官
二等陸曹 岩切 進
(第十五後方支援隊)



募集課 広報係
三等陸曹 岡本 千加
(第十五旅団司令部付隊)



日向地域事務所 広報官
三等陸曹 河野 智美
(水陸機動団)



宮崎募集案内所 広報官
三等陸曹 中村 典生
(第八通信大隊)



副本部長
行(一)6 吉村 一巳
(熊本地方協力本部)



援護課長
行(一)5 牧之瀬 恭彦
(佐賀地方協力本部)



総務班長
行(一)4 津田 智之
(防衛医科大学校)



総務課 管理班長
行(一)2 久島 まみ
(都城駐屯地業務隊)



募集課 審査専門官
行(一)2 香川 真希子
(えびの駐屯地業務隊)



総務課 庶務係
行(一)1 熊本 沙也香
(関東補給処)



【新規採用】

援護課 予備自係
行(一)1 西原 慶長



定年退官

おめでとございます。

平成三十一年四月一日付

都城地域事務所
准陸尉 中村 宏

平成三十一年一月二十五日付

総務課管理班
陸曹長 前野 修

平成三十一年二月二十四日付

総務課管理班
陸曹長 久島 和広

平成三十一年三月十八日付

副本部長
行(一)6 古澤 秀一

平成三十一年三月三十一日付



臨時勤務者の紹介

援護課 援護係

一等陸曹 衣笠 満隆
(第四十三普通科連隊)



期間 平成三十一年四月一日～六月三十日

募集課 広報班
海上自衛官 柳原 達也
(海上自衛隊 鹿屋基地)



期間 平成三十一年二月一日～四月三十日

地本の皆様へ

柳原 達也

私はこの宮崎地本の募集課広報班に臨時勤務を命ぜられた四月二十六日まで勤務いたしました。三か月間の勤務では、艦艇広報、祭りイベント等の業務に参加させていただき、募集広報、一般広報等の大切さを経験しました。日頃、部隊勤務をしている私は、地本からの目線を知りませんでした。部外の皆様との交流や自衛隊広報の重要性を深く認識しました。また、勤務間、実家から通勤しており、毎日母親の手作りの弁当をいただきました。部隊の料理も美味しいのですが、母親の味が一番美味しい事と今まで育てられた事に改めて感謝することが出来ました。部隊に帰ってからはこの経験を糧に頑張っていこうと思っております。

感動のお例文

平成三十一年三月九日に行われた宮崎産業祭において、会場に来てくれた「さかもとすばる」君よりお手紙(左記)をいただきましたので紹介します。



このまえ、せりふくをきせてくれたり、せん車にのせてくれて

ありがとうございました。

はんきょうも、うんどうもいっぱい

がんばってカッコイイじえりかんに

めったにないたいです。

さかもとすばる

宮崎地本マスコットキャラクター

名前が変わったよ～



陸上自衛官 日向 (ひむか)



海上自衛官 渚 (なぎさ)



航空自衛官 隼人 (はやと)